

非線形弾性論における数値解析

特異点の数値的変形について

山口 昌哉 藤井 宏

本報告は第3回 I R I A Symposium (1977年
12月 ベルサイユ) に著者達が発表した。下記の近刊論文の
解説である。; "On numerical deformation of singularities
in non-linear elasticity."

Springer: Proceeding 3rd International
Congress on Computing methods.

この内容は、弾性論における幾何学的非線形現象：分岐
座屈およびスナックポイント等に対する。数値計算の方法として
例えば Hanai-Kawamata の形式的摂動が、どうして数値的にそ
れぞれの特異性を再現できるのか、どんな場合にはできない
のかについて解答をあたえ、更にその収束、誤差評価をあた
えるものである。